

日本木材学会組織と材質研究会 2012年秋季シンポジウム

「木材の形成機構解明に向けた新規イメージング技術」

木材がどのようなメカニズムで形成されていくのかを明らかにするためには、その形成過程における細胞壁構成成分や抽出成分あるいはそれらの合成に関わる遺伝子発現や酵素の局在様式、細胞小器官の動的挙動を十分に理解する必要があります。その手段として、イメージング技術は非常に強力なツールであり、現象を正しく捉える上では必要不可欠であると考えます。

本シンポジウムでは、第一線で活躍されている研究者をお招きし、木材の形成機構に関する研究においてこれまで用いられてきた研究手法とその成果に加えて、近年発展してきた新規イメージング技術とその応用成果を紹介していただきます。これまでの研究手法や成果を整理した上で、近年発展してきた技術が木材の形成機構に関する研究においてどのように貢献出来るのかについて理解を深めることで、木材の形成機構の解明に向けた新たな展開を生み出すきっかけを作りたいと考えています。多くの木材研究者の参加をお待ちしております。

主催：日本木材学会組織と材質研究会

日時：2012年9月26日（水）12:00から17:00

場所：東京農工大学 府中キャンパス 2号館2-21

内容：

1. 免疫標識法：細胞壁成分の局在 (京都大学 高部 圭司 氏)
2. TOF-SIMS：樹木抽出成分生合成・分布の可視化 (名古屋大学 今井 貴規 氏)
3. マイクロダイセクション：微細組織におけるリグニン構造と生合成遺伝子の発現 (九州大学 堤 祐司 氏)
4. ライブセルイメージング：細胞骨格の動的挙動 (東京大学 小田 祥久 氏)
5. そろそろ分子を見ませんか？：木質細胞壁研究における一分子可視化技術の可能性 (東京大学 五十嵐 圭日子 氏)

参加費：1000円（要旨集代含む）（学生無料）

懇親会：東京農工大学50周年記念ホール

連絡先：シンポジウム企画担当 半 智史（東京農工大学）

E-mail: nakaba@cc.tuat.ac.jp, Phone:042-367-5814, Fax: 042-334-5700

参加人数の把握が必要となりますので、事前に登録をお願いいたします。参加ご希望の方は上記連絡先まで、所属、氏名、連絡先、懇親会参加の有無をご連絡ください。

ホームページ：最新情報は研究会のホームページに掲載しますので、ご確認ください。

URL: http://www.jwrs.org/kenkyu/wa_wp/resources/2012autumn_symposium.html